



円鋸元規氏の製作場にて（右から坂東委員長、
円鋸氏、大山事務局長、佐藤社会教育部長（当時）
なお、左の作品は85年の日影展へ出品したもの。

ブロンズ像は
円鋸元規氏へ

略歴

一九四八年（昭和二十二年）
川崎市に生れる
東京芸術大学専攻科終了。
日展・日影展連続入選、
奨励賞、特選等受賞。

員 日展・日影展会員、審査

市内の主な作品

千代丘小、麻生高校
幸文化センター、中原市民
館、平和公園、市民プラザ、
麻生区役所、古市場交差点
などにあります。

建設用地は

大山とさらに枳形山公園へ

三月二〇日、写真のよう
にブロンズ像の彫刻依頼と
大山現地調査が行われ、そ

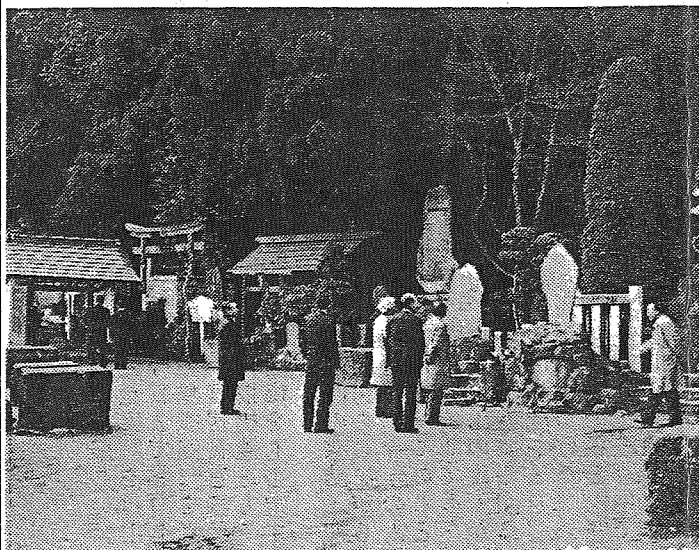
学童疎開記念碑建設
とりくみすすむ

左は、中原平和公園内
の「はばたけ」



大山（阿夫利神社）の建設予定地を調査する
岩淵教育長（当時）や森山川教組委員長ら。
下社の神殿より左へまわり、登山道の階段の手前。

れぞれに好意ある対応をい
ただきました。実行委員会
では四月二〇日に第二回の
会合をもちました。
今後は、記念誌の編集を
すすめるとともに、全体の
事業を成功させるために、



五〇〇万円の寄付金を募ら
なければなりません。
市労連では一〇〇円カンパ
を決定、県教弘済からは一
〇万円などすすんでいます。
さらに、同じ像を川崎の
地（枳形山）へもの声も強
くなっています。